



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日 東

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所
 コード番号 2112 URL http://www.ensuiko.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 裕司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループ長 (氏名) 酒井 英喜 (TEL) 03-3249-2381
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	13,597	3.4	448	41.6	467	36.0	306	31.8
27年3月期第2四半期	13,154	△3.2	316	△14.8	343	15.2	232	53.9

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 375百万円(124.2%) 27年3月期第2四半期 167百万円(△46.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	11.30	—
27年3月期第2四半期	8.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	24,708	7,125	28.8
27年3月期	24,824	6,885	27.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 7,125百万円 27年3月期 6,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	△1.2	590	3.1	590	1.5	390	22.7	14.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	35,000,000株	27年3月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	7,890,604株	27年3月期	7,890,584株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	27,109,402株	27年3月期2Q	26,859,926株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善がすすみ、個人消費にも持ち直しの兆しがみられ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

一方、砂糖業界におきましては、砂糖消費量の漸減傾向が続き、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは基幹事業である砂糖事業（国内精糖及びその他糖類）並びにバイオ事業における売上高・利益計画の達成に向けて全力で取り組んで参りました結果、当期の業績及びセグメントごとの業績は以下のとおりとなりました。

①砂糖事業

海外原糖市況につきましては、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）において期初12.00セントで始まりしました。序盤は天候懸念によるブラジルでのキビ収穫が懸念され、5月中旬には13.60セントの高値をつけましたが、その後はレアル安によるブラジルの輸出増加観測により下落に転じ、8月下旬には7年ぶりの安値となる10.13セントをつけました。終盤はブラジルでの砂糖生産ペース鈍化等の影響により値を戻し、結局12.17セントで当期を終了しました。

国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg当たり）は、期初185～186円で始まり、同水準のまま当期を終了しました。

国内精糖及び異性化糖などの国内販売は、需要期における大手飲料ユーザー向け販売が順調に推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当期における砂糖事業全体の売上高は12,447百万円（前年同四半期比2.6%増）、セグメント利益は866百万円（前年同四半期比14.1%増）となりました。

②バイオ事業

オリゴ糖事業は、主要量販店等への販売促進活動に加え、各種メディアを中心にした『腸内フローラ』特集等による好影響を受け、「オリゴのおかげ」の販売数量は好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

サイクロデキストリン事業は、ピフィズ菌関連製品が比較的堅調であったものの、大手ユーザー向け販売が低調に推移しました。食品及び非食品への拡販に努めましたが、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当期におけるバイオ事業全体の売上高は806百万円（前年同四半期比20.7%増）、セグメント利益は80百万円（前年同四半期比21.9%増）となりました。

③不動産賃貸事業

関西製糖株式会社への大阪工場設備の賃貸及びニューE S Rビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用にも努めました結果、不動産賃貸事業の売上高は386百万円（前年同四半期比3.5%減）、セグメント利益は28百万円（前年同四半期比25.1%増）となりました。

以上の結果、当期の売上高は13,597百万円（前年同四半期比3.4%増）、営業利益は448百万円（前年同四半期比41.6%増）、経常利益は467百万円（前年同四半期比36.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は306百万円（前年同四半期比31.8%増）となりました。

研究開発につきましては、抗がん剤の副作用を大幅に軽減し得る「がんミサイル療法」の共同研究を継続、バイオプラスチックの原料となり得る「グルカル酸」の安価な製造法の開発、ピフィズ菌を選択的に増やす「乳糖果糖オリゴ糖」の新機能探索と新製法の開発に取り組みました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて115百万円減少し、24,708百万円となりました。

これは主に、現金及び預金239百万円の減少、受取手形及び売掛金114百万円の減少等によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べて355百万円の減少し、17,583百万円となりました。

これは主に、有利子負債367百万円の減少等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて239百万円増加し、7,125百万円となりました。

これは主に、その他有価証券評価差額金が96百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べて239百万円減少し、1,238百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、558百万円(前年同四半期比192百万円の増加)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益466百万円、減価償却費327百万円、売上債権の減少額114百万円等による資金の増加があった一方で、たな卸資産の減少額193百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は、291百万円(前年同四半期は231百万円の資金支出)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出238百万円、貸付金による純支出50百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は、506百万円(前年同四半期は396百万円の資金支出)となりました。

これは主に、配当金の支払134百万円、借入金返済による純支出371百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月8日付で公表いたしました当第2四半期累計期間の業績予想につきましては、平成27年10月30日に修正を行い、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が当初予想を上回る結果となりました。

なお、平成28年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成27年5月8日公表の業績予想からの変更はありません。

今後、何らかの変化が生じた場合、適時適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替を行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,477	1,238
受取手形及び売掛金	1,640	1,525
商品及び製品	1,107	1,268
仕掛品	293	195
原材料及び貯蔵品	768	897
繰延税金資産	71	86
その他	1,138	1,176
流動資産合計	6,497	6,389
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,752	9,798
減価償却累計額	△5,572	△5,709
建物及び構築物(純額)	4,179	4,088
機械装置及び運搬具	11,212	11,265
減価償却累計額	△9,675	△9,806
機械装置及び運搬具(純額)	1,537	1,458
工具、器具及び備品	431	423
減価償却累計額	△363	△342
工具、器具及び備品(純額)	68	81
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	13	39
有形固定資産合計	11,034	10,902
無形固定資産		
ソフトウェア	31	23
その他	6	6
無形固定資産合計	38	29
投資その他の資産		
投資有価証券	5,106	5,260
長期貸付金	1,391	1,440
繰延税金資産	684	614
その他	72	71
投資その他の資産合計	7,254	7,387
固定資産合計	18,327	18,319
資産合計	24,824	24,708

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	633	824
短期借入金	8,780	6,260
1年内返済予定の長期借入金	2,494	2,162
未払法人税等	16	145
未払消費税等	234	184
賞与引当金	80	81
その他	1,056	829
流動負債合計	13,295	10,488
固定負債		
長期借入金	3,399	5,883
退職給付に係る負債	927	869
その他	316	341
固定負債合計	4,643	7,094
負債合計	17,938	17,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	241	241
利益剰余金	8,027	8,198
自己株式	△3,021	△3,021
株主資本合計	6,997	7,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△187	△91
繰延ヘッジ損益	12	△12
退職給付に係る調整累計額	63	61
その他の包括利益累計額合計	△111	△42
純資産合計	6,885	7,125
負債純資産合計	24,824	24,708

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	13,154	13,597
売上原価	11,028	11,302
売上総利益	2,125	2,295
販売費及び一般管理費	1,809	1,847
営業利益	316	448
営業外収益		
受取利息	19	18
受取配当金	55	61
持分法による投資利益	9	4
その他	8	6
営業外収益合計	93	91
営業外費用		
支払利息	57	51
支払手数料	3	19
その他	6	1
営業外費用合計	66	72
経常利益	343	467
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	343	466
法人税、住民税及び事業税	55	143
法人税等調整額	55	16
法人税等合計	111	160
四半期純利益	232	306
親会社株主に帰属する四半期純利益	232	306

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	232	306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59	109
繰延ヘッジ損益	4	△24
退職給付に係る調整額	△0	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△12
その他の包括利益合計	△64	69
四半期包括利益	167	375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167	375

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	343	466
減価償却費	352	327
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△54	△61
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	1
受取利息及び受取配当金	△75	△80
支払利息	57	51
為替差損益(△は益)	△2	0
持分法による投資損益(△は益)	△9	△4
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△0
ゴルフ会員権評価損	0	1
売上債権の増減額(△は増加)	340	114
たな卸資産の増減額(△は増加)	△416	△193
仕入債務の増減額(△は減少)	10	190
その他	△69	△269
小計	476	542
利息及び配当金の受取額	75	80
利息の支払額	△57	△51
法人税等の支払額	△129	△21
法人税等の還付額	—	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	365	558
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△189	△238
無形固定資産の取得による支出	△3	△0
投資有価証券の売却による収入	—	0
貸付けによる支出	△530	△550
貸付金の回収による収入	489	499
その他	1	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△231	△291
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,070	△2,520
長期借入れによる収入	2,600	3,396
長期借入金の返済による支出	△1,764	△1,247
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△161	△134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△396	△506
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△258	△239
現金及び現金同等物の期首残高	1,368	1,477
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,109	1,238

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,117	652	384	13,154	—	13,154
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10	16	16	43	△43	—
計	12,128	668	400	13,197	△43	13,154
セグメント利益	759	66	23	848	△531	316

(注) 1 セグメント利益の調整額△531百万円には、セグメント間取引消去△7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△524百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,437	789	370	13,597	—	13,597
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	17	16	43	△43	—
計	12,447	806	386	13,640	△43	13,597
セグメント利益	866	80	28	976	△527	448

(注) 1 セグメント利益の調整額△527百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△528百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。